

令和元年度第2回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会
会議録（要約版）

1 開会

2 前回議事録の確認（資料1）
承認

3 報告事項

- (1) 令和元年度10月末までの手術状況について（資料2）
資料2にある他、相談を6件受け付けており、15頭の手術を12月ごろから行っていきたい。
- (2) 11月30日開催予定のボランティア募集セミナーについて
チラシを配布し、各委員へ広報への協力を依頼した。市の広報としては、市報・ホームページへの掲載、市役所第二庁舎入口へのチラシの設置を行っている。広報掲示板は予約の受付時期、受付枠の都合で掲示していない。

4 議題

- (1) 小金井市の地域猫活動の今後について
小金井市における飼い主のいない猫対策としては地域猫活動の支援を行っているところだが、住民に趣旨が浸透していない現状がある。そのような状況の中で、行政とボランティアが中心となってTNRを重点的にやってきた。今年度末で事業開始から3年経過するが、今後、地域猫活動の周知や三者の役割分担等どのように活動を推進していくべきかについて協議会でご協議いただき、認識を共有したいと提案した。
提案に対して、現在の行政中心の体制で来年度以降活動を継続するのは難しいこと、東京都からの補助金の補助率が10/10から1/2に変更になることを確認した上で、以下のような意見があった。
委員A：ボランティア不足であると考えているので、増やす努力をしている。近所だとボランティアとしても住民に接触もしやすいし、その後のフォローの体制もとりやすい。小金井市の猫は、いわゆる猫屋敷を中心として増えていっているような印象を持っている。そういったポイントへの対応が重要であると考えている。
委員B：個人で活動しているような人がまとまるようにできるといいのではないか。ガイドラインは目標もしっかりしていて、内容もわかりやすい。このガイドラインを啓発していくことが大切である。

委員C：以前はボランティアと動物病院で個別に手術費用の交渉をしていたが、市が事業を開始し協定を締結したことによってバランスがよくなった。この体制はいいと思っているので事業を継続してほしい。

このように事業を継続していくために、ガイドラインの周知等啓発が重要であることを協議した。

5 次回協議会の日程について

2月か3月に開催を予定している。

6 その他

小金井市地域猫活動協力病院ステッカーについては今後着手する予定。